

令和7年度 鳥羽志摩中学生総合体育大会

実施要項

主 催 : 鳥羽志摩中学校体育連盟
後 援 : 鳥羽市教育委員会 志摩市教育委員会
期 日 : 令和7年5月10日(土)～7月6日(日)

競 技	期 日	開 催 会 場
野 球	6月 7日(土)	長沢球場
	6月 8日(日)	
	6月14日(土)	
サッカー	5月10日(土)	鳥羽東中学校グラウンド
	5月17日(土)	
	6月 7日(土)	
女子バレーボール	6月14日(土)	文岡中学校体育館
バスケットボール	6月15日(土)	鳥羽市民体育館
ソフトテニス	6月14日(土)	阿児ふるさと公園
	6月15日(日)	
男子卓球	6月15日(日)	磯部ふれあい公園
	6月22日(日)	阿児アリーナ
女子卓球	6月14日(土)	大王中学校体育館
バドミントン	6月 7日(土)	鳥羽東中学校体育館
柔 道	6月 7日(土)	鳥羽市武道館
剣 道	5月10日(土)	鳥羽市武道館

注) 総合体育大会ではあるが、屋外競技においても天候や各会場の状況により「実施」「延期」の判断が異なる。

1. 大会出場規定

(1) 大会参加資格

- ① 鳥羽志摩中学校体育連盟に加盟する中学校や地域スポーツ団体等に在籍する生徒とする。
- ② 鳥羽志摩中学校体育連盟の大会で日時が異なっていれば複数競技への参加を認める。
- ③ 大会参加資格は、「令和7年度 鳥羽志摩中学校体育連盟 各種大会出場規定」に準ずる。

(2) 複数校の合同チーム及び拠点校方式チームによる参加規程

① 合同チームの規定

この規定は、少人数の部活動による単独チームの編成ができないことの救済措置であり、勝利至上主義および競技力向上を第一の目的とするチーム編成であってはならない。なお、複数校合同チームで参加する場合は、「令和7年度 鳥羽志摩中学校体育連盟 各種大会出場規定」の合同チーム編成条件を満たしていることが必要である。

② 拠点校方式チームの規程

この規程は、地域の実情において、すべての中学生が運動やスポーツの楽しさ・喜びを味わう機会を保障するためのものである。あくまでも生徒の活動保障であり、勝利至上主義および競技力向上を第一の目的とする拠点校であってはならない。なお、拠点校で参加する場合は、「日本中学校体育連盟 拠点校活動規程」の条件を満たしていることが必要である。

2. 開催、延期の決定について

- ① 降雨等の影響でグラウンドコンディションが不良な場合は、大会を原則として、延期とする。但し、天候の回復が見込まれる場合は、試合開始時刻を遅らせて大会を開催する。これらの判断は、各専門部で行う。
- ② 鳥羽市定期船が濃霧等の発生で運行できない場合や雷注意報が発表された場合等は、鳥羽志摩中体連本部が協議し、実施、又は延期の判断を行う。
- ③ 熱中症特別警戒アラートが発表された場合は、延期とする。
- ④ 予定通り開催できる場合は、原則連絡をしない。また、開催、延期等の情報については、鳥羽志摩中体連のホームページに掲載する。

1) 各競技専門部

- ① 大会当日の5時45分までにグラウンド状況等を確認し、大会実施の判断を行う。その後、鳥羽志摩中体連本部へ連絡する。
- ② 大会の延期、順延、又は試合開始時刻変更等の連絡は、大会長、養護教諭、専門部員、出場校、審判員、競技会場等に連絡する。
※順延・延期をした場合、養護担当が代わる可能性がある。
- ③ 濃霧等の影響により、試合開始時刻が変更となった場合は、各専門部で大会実施の判断をする。

2) 鳥羽志摩中体連本部

- ① 各専門部の判断、鳥羽市定期船の運行状況、雷注意報、熱中症アラート等を確認し、6時00分頃に実施・延期の判断を会長・副会長・各校理事・各競技専門部長に連絡する。
※濃霧等の影響により、定期船が通常運航できない場合は、鳥羽市定期船課のホームページに6時30分頃に掲載される。そのため、最大6時30分まで待機する可能性がある。

3. 大会の運営について

(1) 開閉会式（開始式含む）

開会式（開始式）と閉会式では、大会長に挨拶をお願いすること。また、会場の使用上の注意や避難経路等についても周知しておく。

全校の参加を基本とするが、各校の参加人数については各専門部の判断とする。

閉会式では、成績発表や表彰等を適宜省略し、生徒の帰宅時間が遅くならないように努めること。

（2）連絡・報告・会計処理（専門部長）

① 合同チームや拠点校方式チームでの参加がある場合は、「鳥羽志摩中体連各種大会出場規定」と「三重県中学校総合体育大会複数校合同チーム参加規定」を確認し、鳥羽志摩中体連本部に報告する。

② 大会要項を専門部会 3 日以内に鳥羽志摩中体連本部へ PDF で提出する。

※定期船を利用する生徒がいる競技（専門部）については、欠航になった場合の対応について、大会要項に記載すること。

※雷注意報等の対応について、大会要項に記載すること。

※サスペンデッドゲーム（一時停止試合）について、大会要項に記載すること。

※熱中症対策について、大会要項に記載すること。

※表彰状の枚数等（表彰状の種類、枚数）を記載する。

③ 大会結果【速報】は、大会実施日の 17 時 00 分までに鳥羽志摩中体連本部へ提出する。

④ 大会結果【詳細・事故報告】は、大会終了後速やかに鳥羽志摩中体連本部へ PDF で提出する。

⑤ 会計報告書を、大会終了後速やかに所属校の理事へ提出する。所属校の理事は、会議等で鳥羽志摩中体連本部（会計担当）に提出する。

※「大会要項」「大会記録（速報）」「大会結果（詳細）」等の提出先

【 toshityutairen00@outlook.jp 】

（3）優勝旗返還

各競技の前年度優勝校は、優勝旗を当日会場まで持参し、優勝旗返還を開会式（開始式）で行う。

（4）棄権（団体競技）※個人競技は、救済措置により、オープン参加等を認める。

団体競技で棄権する場合は、当日でも可能であるが、その可能性がある場合は、事前に鳥羽志摩中体連本部・専門部長に状況を伝えておくこと。

・学校閉鎖 ⇒ 棄権

・学年、学級閉鎖 ⇒ 該当学年、学級以外の生徒でチーム編成ができ、出場可能な場合は出場できる。
ただし、学校長が「棄権」と判断する場合もある。

（5）表彰

表彰は、団体競技、個人競技ともに 3 位までとする。ただし、参加校が 8 校未満の競技は 2 位までとし、4 校未満の競技は 1 位のみとする。各競技の大会要項に表彰について記載すること。

大会結果は、後日鳥羽志摩中体連のホームページ、新聞等に掲載する。支障のある場合は、鳥羽志摩中体連本部まで事前に連絡をすること。

優秀選手は、各競技最大 10 名とし、人数については各専門部で判断する。

（6）緊急時の対応（けが、熱中症等への対応）

大会期間中、生徒の健康状態の把握につとめ、参加者の健康管理の事前指導を必ず行うようにする。急病や大ケガについては、救護担当の手を借りて応急処置を施し、顧問・引率者等が速やかに医療機関へ搬送する。なお、該当校の学校長、家庭への連絡も速やかに行なうこと。

専門部長は、状況報告も含め中体連会長、及び理事長への連絡も必ず行うこと。

※医療機関等については、別紙参照

4. 災害時の対応

地震・台風等に対して何らかの警報・注意報が出された場合は、以下の安全対策に基づいて行動すること。

(1) 大会開始前

- ① 在宅中の場合には、自宅にて安全を確保させる。大会当日6時00分の段階で発表されている場合は、その日の競技は全て実施せず、延期とする。
- ② 会場への移動中は、速やかに帰宅するものとする。なお、公共交通機関を使用している場合は乗務員の指示に従うこと。

(2) 大会開催中

- ① 直ちに競技を中断し、その場で待機するか、帰宅するか、安全な場所に避難するか状況を各競技の大会長が判断して、最も安全と思われる方法を指示する。

(3) 警報・注意報が解除された場合

- ① 解除された場合でも、交通機関、通信手段等、相当な社会的混乱が予想されるため、大会の開催等については鳥羽志摩中体連本部で協議する。

(4) 落雷事故防止について

- ① 落雷の予兆があった場合は、速やかに活動を中断し、危険性が無くなると判断されるまで、安全な場所に選手またはその関係者を避難させる等、安全確保を最優先事項として常に留意する。

※落雷の予兆

雷鳴が聞こえる ・ 稲光が見える ・ 急に真っ黒な雲が近づいてくる、急に雨やあられが降ったりする 等

- ② 大会当日に雷注意報が発表されている場合は、気象庁の「雷ナウキャスト」等で天候情報を確認し、大会を中断するかどうか判断すること。
- ③ 落雷による事故を未然に防ぐために、事前に情報収集しておくこと。
 - ・ 前日及び当日の天気予報（特に突発的な豪雨や雷雲等）
 - ・ 活動場所と避難場所の位置確認

(5) 判断・報告

- ① 天候が急変したときの対応（雷、大雨等）は、大会長、専門部長で協議し、中断等の判断をする。
- ② 専門部長は、大会の実施、延期等について必ず中体連会長及び理事長に報告をすること。

5. 熱中症対策

- ① 熱中症は未然に防止できることや、生徒の健康や生命に甚大な影響を与えることを、学校及び指導者が十分に認識した上で指導に当たること。
- ② 学校及び指導者は、生徒の健康管理を適宜適切に行い、一人一人の状況に応じて必要な対策を個人に講じるとともに、プリント等を活用して生徒・保護者にも繰り返して注意を喚起すること。
- ③ 各専門部に熱中症対策費を支給し、氷やスポーツドリンク等の準備をする。また、各校の顧問は、参加生徒の体調把握に努め、適切な休憩や塩分・水分補給を促すとともに、熱中症対策として必要な物品を準備すること。（経口補水液、体温計等）

- ④ 大会期間中、熱中症が疑われる症状が見られる参加者が発生した場合は、大会長、専門部長、養護教諭、該当校顧問が綿密に連携を取り、参加者の安全を最優先に考えた対応をとること。
- ⑤ 屋外競技において、日陰がない会場では、テント等の準備をすること。
- ⑥ 活動場所のWBGT値を定期的に（1時間に1回程度）測定すること。
- ⑦ 場内アナウンス等により、参加者へ熱中症の注意喚起を行うこと。
- ⑧ 活動場所のWBGT値が31℃以上の場合は、一時中断し、延期又は再開する等を検討すること。再開と判断した場合は、競技開始時間や実施方法の変更、クーリングタイム等の対応を柔軟に行うこと。その際、選手にとって不利益とならないように十分に注意する。

6. その他

(1) 不適切な指導の根絶

- ① 体罰、暴言、セクハラ等について、十分に留意し、適切な指導・対応を行っていくこと。

医療機関等 連絡先一覧

一次対応						
志摩市	日比クリニック	外科 内科 他	9:00~12:00 / 15:00~18:00	0599 55-0218		
			木・土 9:00~12:00			
			休診日 日曜日			
	いしがみ整形外科	整形外科 他	9:00~12:00 / 14:30~18:00	0599 52-0003		
			土 9:00~12:00			
			休診日 木・日曜日			
おかむらクリニック	外科 内科 他	8:30~12:00 / 15:00~18:30	0599 44-2828			
		水・土 8:30~12:30				
		休診日 木・日曜日				
齋木内科	内科 他	9:00~12:00 / 15:30~18:30	0599 43-2491			
		土 9:00~12:00 / 15:30~17:30				
		休診日 木・日曜日				
おかむね医院	内科	9:00~12:30 / 15:00~18:00	0599 55-3333			
		木 9:00~12:00				
		休診日 日曜日				
志摩市 休日夜間 応急診療所	/	日・祝 9:30~12:00 / 13:30~15:30 夜間 19:30~21:30	0599 43-5899			
		鳥羽市	整形外科 他	9:00~12:30 / 15:00~18:00	0599 26-4131	
				土 9:00~12:30 / 14:00~17:00		
休診日 木・日曜日						
鳥羽市 休日夜間 応急診療所	/	日・祝 9:30~11:30 / 13:00~15:30 夜間 19:30~21:30	0599 25-1119			
		二次対応				
		志摩病院 0599-43-0501				
救急医療情報センター 059-229-1199						

※ 急を要する場合は、救急車を要請してください。
 症状にもよりますが頭部及び頸部の損傷の場合は原則、救急車で搬送してください。

令和7年度
鳥羽志摩中学校体育連盟 総合体育大会【大会長・養護一覧】

競 技	会 場	期 日	大 会 長	養 護
野 球	長沢球場	6/7 (土)	助田 宏樹	安部 真由
		6/8 (日)	橋本 さゆり	堤 淑
		6/14 (土)	助田 宏樹	剣山 真奈美
サッカー	鳥羽東中学校グラウンド	5/10 (土)	竹村 速視	竹内 洋子
		5/17 (土)	竹村 速視	剣山 真奈美
		6/7 (土)	竹村 速視	伊藤 ゆかり
女 子 バレーボール	文岡中学校体育館	6/14 (土)	谷口 三津夫	堤 香織
バスケットボール	鳥羽市民体育館	6/15 (日)	高岸 三枝	安部 真由
ソフトテニス	阿児ふるさと公園	6/14 (土)	小林 和浩	堤 淑 郷 さほ
		6/15 (日)	大主 孔明	大畑 美幸 福本 晶
男 子 卓 球	磯部ふれあい公園	6/15 (日)	大木 信幸	郷 さほ
	阿児アリーナ	6/22 (日)	谷口 三津夫	大畑 美幸
女 子 卓 球	大王中学校体育館	6/14 (土)	千草 義輝	伊藤 ゆかり
バドミントン	鳥羽東中学校体育館	6/7 (土)	山下 幸也	福本 晶
柔 道	鳥羽市武道館	6/7 (土)	谷口 三津夫	堤 香織
剣 道	鳥羽市武道館	5/10 (土)	山下 幸也	廣川 遥

※雨天等で大会が延期の場合、大会長もスライドしていく。養護担当については、養護部会で調整する。

令和7年度 鳥羽志摩中学生総合体育大会 申し合わせ事項

1. 生徒の移動（集合等）について

生徒の大会会場等への移動については、原則、公共交通機関を利用する。

2. 事前指導

大会の成功を願って、壮行会等の場で大会の意義・スポーツマンシップ、応援マナー等の指導を徹底し、規律の確立と意気高揚を図る。

3. 職員の参加

各学校で引率団を形成し、生徒指導に万全を期すること。引率者は単なる付き添いではなく、服装・ゴミ処理・落書き・公共物破損等に細心の注意を払うとともに、生徒の解散まで責任を持つ。
※ 外部コーチは、継続的に指導に関わり学校長の承認したコーチであればベンチ入りが可能である。その際、「外部コーチ確認書」を鳥羽志摩中体連事務局に提出する。

4. 生徒（部員）の服装等

- ① 部員は、ユニフォームまたは体操服、各校で認められた部活の練習着も可とする。更衣室は準備しない。ただし健康管理、保健指導の面で必要のある時は、会場校、会場管理者に申し出て使用の許可をもらう。
- ② 接触プレーの有無に関わらず爪は短くして試合に臨み、また、その他安全上必要と思われる指導を各校で徹底しておく。
- ③ ゲーム機や漫画等の大会に不必要な物の持ち込みは厳禁とする。
- ④ 携帯電話やスマートフォンの使用に関しては、原則各校やチームのルールに従うものとする。

5. 開会式（開始式）・試合等

- ① 各校とも遅れないようにし、引率者も整列し厳粛に行う。
- ② 競技上の注意とともに、生徒指導上の注意も行う。
- ③ ルールに徹し、きびきびとした行動をとらせる。審判は服装にも留意する。

6. 応援・見学

- ① 学校ごとにまとまって行い、鳴り物による応援は禁止する。
- ② 中学生らしく節度ある応援をし、相手のファインプレーもたたえる。
- ③ 応援者、見学者の服装は、体操服・制服とする。ただし、登下校時に限り、各校で認められた部活の練習着も可とする。
- ④ ゲーム機や漫画等の大会に不必要な物の持ち込みは厳禁とする。
- ⑤ 携帯電話やスマートフォンの使用に関しては、原則各校やチームのルールに従うものとする。

7. 飲食

- ① 水筒を持参させ、ジュース類・菓子類の購入や持ち込みは行わないこと。
- ② ペットボトルについては、個人および学校の責任において必ず持ち帰ること。

- ③ 熱中症対策として、スポーツドリンクや塩タブレット等の持参を推奨する。
- ④ 昼食は、引率者が見渡せる場所でとり、ゴミは必ず持ち帰ること。

8. 会場使用

- ① 校舎内等への立ち入りは禁止する。上履き・下履きの区別をはっきりさせる。使用した用具、会場の後片付けを確実に行う。
- ② 各会場における役員、審判、応援等の駐車は所定の駐車場とする。送迎のための路上駐車は禁止とする。各校で保護者への連絡をしておく。

9. トラブル

- ① 関係校と本部（会長・理事・競技委員長・会場責任者・専門部長）とで協議する。
- ② 暴力行為（応援者も含む）があった場合は、自発的に試合を辞退することを生徒に徹底させておく。

10. 協力体制

関係校は、自校のみにとらわれず最後まで十分協力し合って大会の成功を図る。

11. 事後指導

報告会を行い、参考事項を中体連に連絡する。

令和7年度 鳥羽志摩中学生総合体育大会 野球の部 要項

1. 期日及び会場

◇ 第1日目：6月7日（土）・・・長沢球場（N）

◇ 第2日目：6月8日（日）・・・長沢球場

◇ 第3日目：6月14日（土）・・・長沢球場

*予備日：6月15日（日）、21日（土）、7月5日（土）、6日（日）長沢球場

2. 使用球

*公認ナガセケンコーM号（1試合につき各校3球提出）

3. 責任者

1日目

会場責任（石本【磯部】）、記録・競技（石川【東海】）、弁当（岡部【大王】）

大会長（助田【磯部】）、救護（安部【東海】）

2日目

会場責任（石本【磯部】）、記録・競技（石川【東海】）、弁当（岡部【大王】）

大会長（橋本【答志】）、救護（堤【文岡】）

3日目

会場責任（石本【磯部】）、記録・競技（石川【東海】）

大会長（助田【磯部】）、救護（剣山【大王】）

4. 競技規定及び申し合わせ事項

(1) トーナメント方式とし、組み合わせは別記の通りとする。

(2) ルールは、2025年度公認野球規則とするが、5.10(d)と5.10l-(2)は除外する。

※5.10(d)：投手は同一イニングに投手以外の守備に2度以上つくことは許されない。

※5.10l-(2)：監督またはコーチが、1イニングに同一投手のもとへ2度目に行けば、その投手は自動的に試合から退かなければならない。

(3) 各試合7回戦。得点差によるコールドゲームは、3回以降15点差、5回以降7点差とする。

（決勝戦も適用する。）

※日没・降雨・雷などによるコールドゲームは、5回以降に適用し、イニングの終了時に適用する。

その時点で勝敗の決しない時またはそれ以前の場合は、特別継続試合（サスペンデットゲーム）とする。

※定期船への乗船時刻、生徒の帰宅時間により試合を中断しなければならないときは、特別継続試合（サスペンデットゲーム）とする。決定は本部・大会長・専門部長・審判団の協議により決定する。

※試合時間の制限は設けない。

(4) 7回で勝敗の決しないときは、8回よりタイブレーク（無死一・二塁・継続打順）を行う。9回を終了して決着がつかないときは、抽選で勝敗を決定する。ただし、三重県軟式野球連盟の内規により決勝戦は除く。

※抽選方法は、審判員及び試合終了時に出場していた両チームのメンバーが終了挨拶の状態に整列し、○印、×印各9枚、18枚の封筒を球審が先攻チームより一枚ずつ交互に選ばせる。二人の審判員が両チームの監督立ち合いのもとに開封し、○印の多い方を抽選勝ちとする。

(5) 抗議は一切認めないが、監督と当該プレーヤーのみ説明を求めることができる。

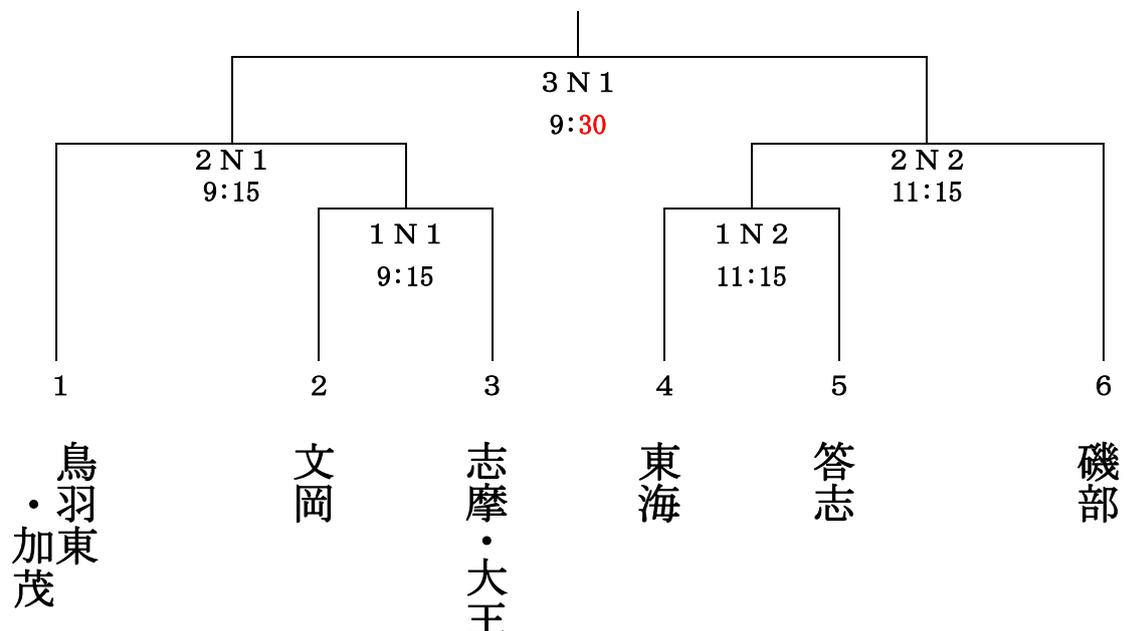
(6) 監督は当該校の教員、コーチは当該校の教職員及び、学校長が認めた継続指導をしているコーチとする。

(7) ベンチは若番を1塁側とし、ベンチ入りはスコアラーを含めて20名以内とする。

(8) 試合出場人数は、背番号をつけている18名以内とする。

- (9) ベンチ入りの顧問は学校関係者3名以内とする。(監督は背番号「30」をつける。)
 *選手、監督、コーチは同色、同形、同意匠のユニフォームを着用することが望ましい。
 *コーチも29、28番を可能であればつける。
- (10) 第1試合の打順表交換、攻守の決定等は、試合開始予定時刻の40分前とし、第2試合以降は前試合の4回裏終了後を基本とする。(打順表は4部提出すること。)
- (11) シートノックは後攻から始めて5分以内とする。ダートサークルに入る補助員はユニフォーム着用(練習用可)のうえ、必ずヘルメットを着用する。相手チームのノック中は、危険防止のためベンチから出ない。ただし、ブルペンでの投球練習は除く。(捕手は必ずレガース・プロテクター・マスク・ファールカップを着用する。また、投手が守備練習のためにマウンド付近を使用することを禁止する。)
- (12) 捕手は、プロテクター・レガース・捕手用ヘルメット・スロートガード・ファールカップ、打者・次打者・走者・およびランナーコーチは、両耳ヘルメットを着用する。
- (13) 次打者はネクストバッターズサークルに入り、サークル内へは試合で使用できるバット1本しか持ち込まない。
- (14) マスコットバット、バットリング、鉄棒、公認球以外のボールなど試合で使用しない物の球場内への持ち込みは禁止する。
- (15) リストバンド、ハイカットストッキング、エルボーガード等の使用を禁止する。ただしサポーター(手首や指を固定・保護する目的の物)の使用は医療目的に限り試合前に大会本部に申し出て許可を得ることとする。
- (16) 本大会の優勝チームは鳥羽・志摩代表として、県大会への出場権を得る。
 ※表彰については、1位1校、2位1校とする。
- (17) メガホンは、ベンチに1個持ち込むことができ、監督のみが使用できる。
- (18) 投手の投球数制限については、1日100球、1週間350球までとする。ただし、試合途中で投球数制限に達した場合、制限に達した時の打者までは投球が認められる。
- (19) 攻守交代の際に控え選手がベンチを出て守備練習を見守ることを禁止する。
- (20) 投手の準備投球に合わせて、先頭打者はネクストバッターズサークルで素振りをすることができる。ただし、他の選手がベンチを出て素振りをするのは禁止する。
- (21) 攻守交代時の準備投球で、控え選手等が準備投球を捕球する場合は、捕手に求められる用具をすべて着用していない限り、立って捕球する。(出場している内野手可)

5. 組み合わせ N:長沢球場



6. 試合開始時刻

- 第1日目【※ 開始式・・・8：50～】
第1試合 9：15 第2試合 11：15頃
- 第2日目
第1試合 9：15 第2試合 11：15頃
- 第3日目
第1試合 9：30

7. 審判

- 第1日目（複数顧問の学校は大会運営の協力）
1N1（4・5・6） 1N2（1・2・3）
※ 審判の足りない部分は外部審判に入ってください。
- 第2日目（複数顧問の学校は大会運営の協力）
2N1（1N1敗・1N2敗・6） 2N2（1N1敗・1N2敗・2N1敗）
※ 審判の足りない部分は外部審判に入ってください。
- 第3日目
3N1（決勝戦進出チーム以外の顧問で割り振る）
※ 審判の足りない部分は外部審判に入ってください。

8. その他

- (1) 各会場とも毎日のゴミ処理・グラウンド整備は、最終チームが必ず担当する。
- (2) 審判は、試合の45分前には集合し、準備にあたる。
- (3) 大会長・養護の先生は、8時30分までに球場に集合する。
- (4) 優秀選手は、最終日に本部席にて決定する。
※優秀選手は、今大会において周りの選手の模範となるプレーや態度を示した選手を10名選ぶ。
- (5) サブグラウンドの使用の仕方や駐車場から球場への移動等、ルールとマナーに気を付ける。特に長沢球場の駐車については、保護者の方へ周知徹底する。
- (6) 離島の生徒が午前6時55分の定期船に乗船できない場合は順延とする。（午前6時30分くらいの決定になるので、各校待機等の準備をする。）
- (7) 学校数の減少により、運営等が厳しくなっている。1日目で敗戦しても2日目・3日目の運営に協力をする。
- (8) 各日程の第2試合目の学校の先発投手は、前の試合の4回終了後、グラウンド内のブルペンでの投球練習ができる。ただし、試合中の学校の使用を優先する。投球練習の際は、スパイクを履くこと。捕手は、試合と同じ防具を着けて捕球する。
- (9) 開始式は、第1試合の生徒と前年度優勝校の代表生徒（優勝旗返還をする者）のみ参加する。
- (10) 試合開始予定時刻はあるが、天候等により、開始時刻が変更になる可能性があることを、保護者等に連絡する。
- (11) 専門部でも熱中症対策として氷等を準備するが、各校でも氷等の準備を万全にする。
- (12) 熱中症に関しても十分に注意する。『事前に生徒の健康チェックをし、必要に応じて保護者や医療機関と出場の可否を含めた相談をする』、『当日も適宜生徒の健康チェックをし、健康上危険と判断されるときは顧問あるいは引率者の判断において棄権をし、医療機関へ移送する』ことについては生徒および保護者の方に周知し、了承を得ておく。
- (13) 球場の観客席には日陰がないため、保護者・応援の方の熱中症対策として観客席に簡易テントを設営することを認める。ただし、プレーの妨げになる箇所への設営は認めない。ボールが当たるなどにより、テントが破損した場合においても、中体連は一切の責任を負わないことを周知徹底

しておく。テントの移動の指示が中体連からあった場合は、速やかに移動する。

- (14) 守備時間が長くなった場合（15分を目安とする）、選手の体調面を考慮し、給水タイムを設ける。決定については、大会長、救護、審判、専門部で行う。給水タイムについては1回5分を目安とする。延長戦に入る場合は、7回終了時に10分間の給水タイムを設ける。
- (15) 熱中症対策については以下の通りとする。
 - ①活動場所のWBGTを定期的に（1時間に1回程度）測定する。
 - ②場内アナウンス等により、参加者へ熱中症の注意喚起を行う。
 - ③活動場所のWBGTが31℃以上の場合は、一時中断し、「中止」や「延期」又は「再開」することを検討する。検討後、「再開」と判断した場合は、競技開始時刻や実施方法の変更、クーリングタイム等の対応を柔軟に行う。その際、選手にとって不利益とならないように注意する。
 - ④熱中症警戒特別アラートが発表された場合は、大会を延期する。
- (16) 落雷の予兆（雷鳴が聞こえる、稲光が見える、急に真っ黒な雲が近づいてくる、急に雨やあられが降ったりする等）があった場合は、大会長、救護、審判、専門部の判断のもと、速やかに活動を中断して、安全な場所に選手またはその関係者を避難させる。
- (17) 大会当日に雷注意報が発表されている場合は、気象庁の天候情報を確認し、大会長・専門部長が大会を中断するかどうかを判断する。
- (18) 大会の終了時刻については、選手等の安全面を考慮し、答志の生徒は17:45、桃取の生徒は18:10の定期船に乗船可能な時刻に、当該試合の進行を中断し、特別継続試合の措置をとる。また、それ以外の学校についても、選手の帰宅時刻が日の入り時刻を過ぎないように考慮し、当該試合の進行を終了し、特別継続試合の措置をとる。この措置が、予想される場合は、あらかじめ大会長・理事・専門部で試合開始前に試合進行終了時刻（新しいイニングに入らない時刻）を決定する。

2025年度(令和7年度) 鳥羽・志摩中学生

総合体育大会(サッカーの部)要項

1. 日時 及び 会場

- ・2025年 5月10日(土)、5月17日(土)、6月7日(土)
予備日6月15日(日)、6月21日(土)、7月5日(土)、7月6日(日)
- ・鳥羽東中学校グラウンド

2. 参加校 及び 試合球

- ・参加 3チーム(鳥羽東中・文岡中・CLUB志摩)
- ・公認5号球(各チーム試合球1球を用意する)

3. 試合運営

- ・大会長:竹村 速視(大王) ・救護:竹内洋子(磯部)、剣山真奈美(大王)、伊藤ゆかり(神島)
- ・マッチコミッサー:大東 健吾(鳥羽東) ・式司会:大東 健吾(鳥羽東)
- ・審判長:松井 暁彦(CLUB志摩) ・会場:渡邊 泰隆(鳥羽東)
- ・記録:上村 徹(文岡)
- ・競技:大東 健吾(鳥羽東)、渡邊 泰隆(鳥羽東)
上村 徹(文岡)
松井 暁彦(CLUB志摩)、横内 亮太(CLUB志摩)

4. ルール 及び 申し合わせ事項

- ・現行の日本サッカー協会競技規則 および鳥羽志摩中体連サッカー専門部の申し合わせ事項による。
- ・最低試合参加人数は7名とする。
- ・試合開始前にWBGT値が31℃を超えている場合は、試合を延期する。
- ・試合中にWBGT値が31℃を超えた場合は、試合を一時中断し、延期または再開について検討する。
- ・クーリングブレイク(3分間)を積極的に採用する。WBGT値が28℃を超える場合はさらに、第二飲水(約1分)も採用する。クーリングブレイクでは選手全員をベンチに戻し、確実に休息させる。
- ・第二飲水時においても、体を冷やす目的でスポンジとタオルの使用を認める。ただし、ミスト(霧吹き)やひしゃく等で水をかけることは時間がかかってしまうので認めない。あくまでも第二飲水は給水の時間であり、作戦タイムではない。
- ・クーリングブレイクは、ベンチに全選手が戻ってから3分。ハーフタイムは10分とする。
- ・レガースは着用。装飾品は認めない。爪は切っておくこと。長い髪の毛はゴムで結びまとめること。
- ・大会登録人数は18名とし、選手の自由交代制は採用しない。交代人数は7名までとする。
- ・メンバー表は大会当日の担当者会議の時に提出する。選手交代は交代カードを提出して行う
- ・警告(累積)2回、及びレッドカードによる退場者は次の試合の出場を停止する。その後の試合については本部で別途協議し、監督に伝えるものとする。
- ・ピッチ外の給水ボトルは、ソフトボトルに限る。感染症予防のため回し飲み等はしない。
- ・中体連で認められた外部コーチのベンチ入りを認める。ベンチ内は、監督1名、引率1名、コーチ1名までとする。(最大3名まで)ただしベンチから立って選手に指導できるのは1名のみ。校長・教頭は本部席とする。
- ・アップはフィールド内で行う。
- ・保護者の応援等は指定された場所で、プレー、ベンチの邪魔にならない場所とする。なお、プレー等に影響がある場合、マッチコミッサーが移動を指示する。
- ・落雷の予兆があった場合、速やかに活動を中止し、危険性がなくなると判断されるまで、安全な場所に避難する。
- ・大会当日に雷注意報が発表されている場合の大会の開催については、中体連本部で協議し、決定する。

5. 試合について

- ・3チームによるリーグ戦で行う。
- ・試合時間は30分-10分-30分とする。延長戦は行わない。
- ・試合中断の場合は天候等の回復を待って当日に行う。天候等の回復が見込めない場合は翌日以降に行う。(残り時間分を、ドロップボール等から始める)

	A Club 志摩	B 文岡中	C 鳥羽東中
A Club 志摩 (FP: 青 GK: 緑)		②	①
B 文岡中 (FP: 白 GK: 橙)			③
C 鳥羽東中 (FP: 紅 GK: 灰)			

対戦表

1日目 5月10日(土) 10:00~ 鳥羽東中 対 Club志摩 (審判 文岡中)
2日目 5月17日(土) 10:00~ Club志摩 対 文岡中 (審判 鳥羽東中)
3日目 6月7日(土) 10:00~ 文岡中 対 鳥羽東中 (審判 Club志摩)

*天候不良等で試合が中止となった場合、予備日に延期する。順延はしない。

順位決定方法

順位は勝ち点制で決定する

- ①勝3点、分1点、負0点、②得失点差、③総得点、④当該対戦成績、⑤抽選

6. 表彰について

- ・表彰は優勝チームのみ(優勝旗1、賞状1)
- ・優秀選手は参加した全チームから選ぶ。(決勝終了後、サッカー専門部で選出)
優勝チーム4名、準優勝チーム2名、他のチーム1名

7. 県大会およびプレーオフについて

優勝チームは県大会の出場権利を得る。準優勝チームは南部地区のプレーオフの権利を得る。

【南部ブロックプレーオフ】

日時: 7月 日() 会場: 伊勢市内会場

大会規則 大会規則は現行の日本サッカー協会競技規則に準ずる。

参加費: 2000円(中体連より) 帯同審判(鳥志2名、伊度2名)

8. その他

- ・開始式を関係チームで行う。(①大会長あいさつ ②優勝旗返還) 前年度優勝校: Club志摩
- ・ベンチは本部席から見て、対戦表通りに左右に分かれること。
- ・試合開始時刻5分前に、登録選手全員の審判チェックを行う。本部前にキャプテンを先頭にし、背番号順に整列する。控え選手はベンチに帰った後、ビブスを着用する。
- ・審判は審判服を着用する。
- ・各チームとも指定された場所に荷物を置く。ゴミは持ち帰る。
- ・ピッチ上はもちろんベンチ内でも非紳士の言動のないように注意する。
- ・打ち合わせを8:30から本部役員テントで行う。(大会長、救護担当も参加する)
- ・閉会式を優勝チーム決定時、即日行う。(①結果発表 ②表彰 ③大会長講評 ④会場校より)
- ・大会決行の判断は専門部により当日の6:00に行われる。
なお、天候(雷・濃霧)状況等により、6:30まで中止決定を延期する場合がある。

R7年度 鳥羽志摩中学生総合体育大会(バレーボールの部)要項

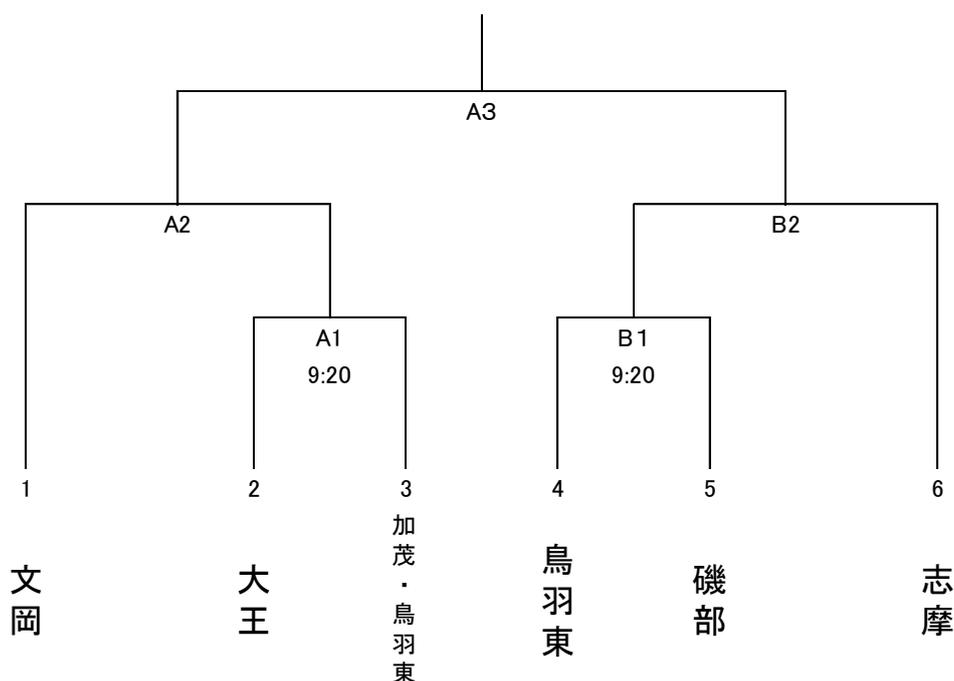
1. 日時 : 6月14日(土) 予備日:6月21日(土)
2. 会場 : 文岡中学校 (開館 8:00 開会式 8:50 第一試合開始 9:20)
3. 使用球 : 人工皮革4号検定球カラーボール(ミカサ)

4. 責任者

総務	競技	審判	会場	会長	養護	専門部長
上村 鳥羽東中	山本 磯部中	東 文岡中	東 文岡	谷口 加茂中	谷口 加茂中	上村 鳥羽東中

5. ルール : 2025年度(財)日本バレーボール協会制定の6人制規則に則る。
6. 熱中症対策 : ・活動場所のWBGTを定期的に(1時間に1回程度)測定する。
・場内アナウンス等により、参加者への熱中症の注意喚起を行う。
・活動場所のWBGTが31℃以上の場合、一時中断し、中止、延期又は再開することを検討する。
・検討後、再開と判断した場合は、競技開始時間や実施方法の変更、クーリングタイム等の対応を柔軟に行う。その際、選手にとって不利益とならないように注意する。
7. 競技方法 : ・全試合3セットマッチとし、トーナメント戦で行う。
・ベンチ入りは、監督、コーチ1名、マネージャー1名、選手14名以内とする。
(必要に応じ、教育的な配慮とする。)
・監督、コーチは当該学校の教職員または部活動指導員とする。ただし、学校長が認めた外部コーチ(継続的に指導にあたり、教育的配慮のできる社会人)のベンチ入りを認める。
マネージャーは当該学校の教職員・部活動指導員・外部コーチまたは生徒とする。
・監督、コーチ、マネージャー、主将は規定のマークを所定(左胸)の位置に付ける。
なお、監督、コーチは服装を統一することが望ましい。
・審判・ラインジャッジ・点示・記録・アシスタントスコアラーは審判の割り当て表の通りに行う。
・コートが濡れた場合は、基本的にコート内の選手がワipingをする。(タオルを持たせる。)モップが必要な場合は、副審の指示のもとベンチの選手で行う。
・試合(IF)終了後、5分間の合同練習を行う。その後にプロトコール。試合が連続するときは、15分試合間隔をあげる。(10分コートをあけ、5分合同練習)
*熱中症対策として、WBGTの数値や選手の状況を見て、試合間隔を25分とする場合がある。
・開閉会式においては、選手はユニホームで、その他の生徒はジャージで整列する。
・各セットのどちらかのチームが13点とったときと30対30になったとき、WTO(30秒)をとる。副審がシグナルなしで吹笛をする。速やかにウォームアップエリアに移動して給水する。

8. 組み合わせ



試合開始予定時間

9:20～ 第1試合

※第2試合後、昼食の時間を設定します。

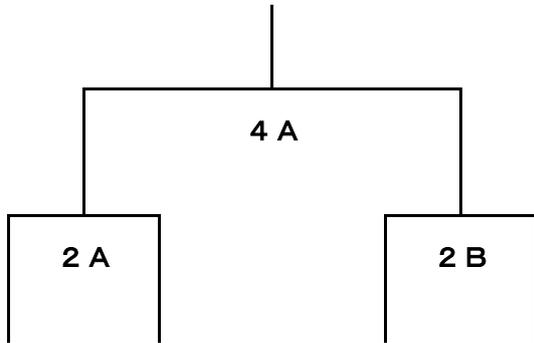
9. その他：
- ・表彰は、優勝・準優勝(表彰必要枚数2枚)とする。
 - ・優秀選手は、優勝チームから4名、準優勝チームから3名、3位チームから各1名、他チームから1名の計10名を選出する。
 - ・急病やケガが発生した場合には、救護担当者が応急処置を施すが、その後は顧問や引率者で速やかに医療機関へ移送する。
 - ・貴重品や荷物は各チームで責任を持って管理する。
 - ・開会式閉会式を行う。開会式には全チームが出席すること。
 - ・この大会の優勝校には、7月29日、7月30日にサンアリーナで行われる三重県中学校バレーボール大会の出場権を与える。準優勝校には7月19日に玉城中学校で行われる南部ブロックプレーオフ大会の出場権を与える。
 - ・熱中症特別警戒アラート等が発表された場合は、大会を延期する。
 - ・天候により、鳥羽市定期船菅島航路が運休や朝のみの一時運休の場合、雷注意報、熱中症警戒アラートが発表された場合は、実施または延期の判断の協議をする。その際、大会本部により6:00～6:30の間での判断とし6:30までに各校に連絡をする。
 - ・会場への移動時間帯に雷注意報が出ていたり、落雷の予兆があったりした場合は、危険性がなくなると判断されるまで、安全な場所に選手または関係者を待機、避難させる等、安全確保を最優先事項として常に留意する。

令和7年度 鳥羽志摩中学生総合体育大会 バスケットボールの部

- 1 期日・会場 6月15日(日) 鳥羽市民体育館
開場 8:00
大会役員集合 8:15
開会式 8:30
競技開始 9:00
- 2 使用球 男子 7号革ボール(各チーム持ち寄りで行う)
女子 6号革ボール(各チーム持ち寄りで行う)
- 3 各係分担 大会会長 高岸 三枝 (東海中)
救護 安部 真由 (東海中)
会場責任者 川添 直哉 (鳥羽東中)
競技責任者 里中 拓馬 (磯部中)
審判長 里中 拓馬 (磯部中)
ワイヤル委員 谷口 真央 (志摩中)
弁当係 山崎 雄也 (東海中)
- 4 ルール 2025～日本バスケットボール協会競技規則による。
試合時間は以下の通りとする。
8分 - (2分) - 8分 - (10分) - 8分 - (2分) - 8分
- 5 表彰 男子については、優勝チーム・準優勝チームをそれぞれ表彰する。
女子については、優勝チームのみ表彰する。
優秀選手については、1位チーム5名、2位チーム3名、その他1名とする。
この大会の優勝校には、7月29日、30日に行われる三重県中学校バスケットボール大会の出場権を与える。準優勝校には7月23日に度会中で行われる南部ブロックプレーオフ大会の出場権を与える。
- 6 その他
- (1) 組み合わせ表において左側のチームが淡色のユニフォームを着用し、オフィシャル席から見て左側のベンチを使用する。
 - (2) チームは、コーチ1名、アシスタントコーチ1名、マネージャー1名、選手18名以内とする。
なお、外部コーチは、学校長の承認を得ているものとする。
 - (3) 選手宣誓は、志摩中学校が行う。
 - (4) 駐車場については、指定された場所を使用するものとする。
 - (5) 濃霧等により、開会式の時間に変更になる場合がある。(6時00分の段階で判断し、開始時間等については専門部で決定するものとする)
 - (6) 本大会は以下の熱中症対策をとりながら行う。
 - ① 活動場所のWBGTを定期的に(1時間に1回程度)測定する。
 - ② 場内アナウンス等により、参加者へ熱中症の注意喚起を行う。
 - ③ 活動場所のWBGTが31以上の場合は、一時中断し、中止、延期又は再開することを検討する。
 - ④ 検討後、再開と判断した場合は、競技開始時間や実施方法の変更、クーリングタイム等の対応を柔軟に行う。その際、選手にとって不利益とならないように注意する。
 - (7) 大会当日に雷注意報が発表されている場合は、気象庁の転校情報を確認し、大会長・専門部長が大会を中止するかどうか判断する。
 - (8) 組み合わせは5/10(土)に行われる三重県中学生選抜バスケットボール大会 鳥羽志摩予選会の結果をもとに専門部で協議し決定する。

7 組み合わせ

< 男子の部 >



< 女子の部 >

		1 A	3 A
	1 A		5 A
	3 A	5 A	

勝ち数が同じ場合は、得失点差によって
順位を決定するものとする。

8 審判・T.O割り当て

	1 9 : 00	2 10 : 20	3 11 : 40	4 13 : 00	5 14 : 20
A					
B					

2025年度鳥羽志摩中学生総合体育大会 ソフトテニスの部

1 日時

《団体戦》6月14日(土) 【雨天順延の場合 6月15日(日)】 開会式 9:00

《個人戦》6月15日(日) 【雨天順延の場合 6月21日(土)】 開会式 9:00

※6月21日(土)までに大会が実施できなかった場合は下記の日程を予備日とする。
6月22日(日)→7月5日(土)→7月6日(日)

※濃霧の影響で鳥羽の定期船が運航していない場合は、6時30分で判断をし、
開会式が始まるまでに選手が到着できないと判断をした場合は、大会を延期する。

2 会場

志摩市阿児ふるさと公園テニスコート

3 責任者

1日目(団体戦)

会長 小林 和浩(文岡)
養護教諭 堤 淑(文岡)
郷 さほ(志摩)
競技責任者 濱野 勝弘(志摩)
会場責任者 前田 祐(文岡)
審判長 橋爪 勇樹(鳥羽東)

2日目(個人戦)

会長 大主 孔明(浜島)
養護教諭 大畑 美幸(浜島)
福本 晶(鳥羽東)
競技責任者 濱野 勝弘(志摩)
会場責任者 前田 祐(文岡)
審判長 橋爪 勇樹(鳥羽東)

※大会役員は8時30分までに会場に集合してください。

4 大会要項

①ルール

ソフトテニスハンドブックおよび三重県中学校参加規定に準ずる

※試合中の助言は、ベンチに入っている監督または外部指導者がチェンジ
サイズ時に、行うことができる。応援者からの助言は、サイドコーチ
とみなし、イエローカードの対象とする。

②熱中症対策

- (1) 活動場所のWBGTを定期的に(1時間に1回程度)測定する。
- (2) 場内アナウンス等により、参加者への熱中症の注意喚起を行う。
- (3) 活動場所のWBGTが31℃以上の場合は、一時中断し、延期又は再開について検討する。
- (4) 検討後、再開と判断した場合は、競技開始時間や実施方法の変更、クーリングタイム等の対応を柔軟に行う。その際、選手にとって不利益とならないように注意する。
- (5) チェンジサービス・ファイナルゲームにおけるチェンジサイズ時に、審判台付近での給水を認める。
- (6) 気温が高くなって来た場合、ヒートルールを採用する。
- (7) 各校熱中症対策として、仮設テント・氷・経口補水液などを準備する。

③雷注意報等への対応

- (1) 大会期間中(試合及び練習やその他に関わる活動を含む)に落雷の予兆があった場合は、速やかに活動を中断し、危険性が無くなると判断されるまで、安全な場所に選手またはその関係者を避難させる等、安全確保を最優先事項として常に留意する。
- (2) 落雷の予兆があった場合は、文岡中学校生徒玄関に避難する。

④使用球 赤Mボール(大会本部で準備)

⑤チーム編成 学校対抗戦・・・1校3ペア(エントリーは4ペア)

個人戦・・・参加ペア数は下記のとおり

《男子》鳥羽東(8) 文岡(6) 浜島(3)

《女子》鳥羽東(8) 加茂(2) 浜島(1) 文岡(10) 東海(7) 志摩(4)

⑥競技方法 団体戦・・・男子 リーグ 女子 トーナメント

個人戦・・・男女ともトーナメント

※競技はすべて7ゲームマッチとする。

※女子の団体戦は、1回戦は3ペアの対抗戦、決勝は2点先取りとする。

⑦表彰

団体戦・・・《男子》1位のみ(1枚)《女子》2位まで(2枚)

個人戦・・・男女とも3位まで表彰(男女各8枚)

優秀選手賞・・・個人戦ベスト4の8名と団体優勝チームより2名(ただし、
団体戦に出場していること)それ以外の場合は、5位の2名を
男女とも優秀選手とする。

⑧審判

団体戦・・・男子：対戦校以外の学校 女子：相互審判

個人戦・・・第1試合については本部からの指定審判、その後は敗者審判で行う。
準決勝・順位決定戦からは相互審判、決勝戦は教員で行う。

⑨服装 選手は全員、ユニフォーム・テニスシューズ・ゼッケンを着用する。
(学校指定のハーフパンツ・半そでシャツでの参加も認める。)

⑩県大会参加資格

団体戦・・・男子：1チーム 女子：1チーム
 ※プレーオフ(7/19(土) 大白公園テニスコート)へ出場は
 男子・女子：2位のチーム
 個人戦・・・男女とも8位まで

⑪その他

- 選手宣誓(前年度優勝校) 男子：文岡中学校 女子：文岡中学校
- 閉会式には入賞チームはできる限り参加すること。
- 選手名簿提出締め切りは、
 団体戦・個人戦とも 6月9日(月)
 男女とも：濱野 勝弘(志摩中)
 FAX：0599-84-0087
 E-mail：t-hamano-katsuhiko@edu.city.shima.mie.jp

5 当日の仕事分担

1日目 司会(塚原) 会場注意(濱野) 競技注意(橋爪) 県報告(濱野) 賞状(藤井)
 記録速報(濱野) 運営進行(顧問全員) 審判員(橋爪・顧問全員)

2日目 司会(塚原) 会場注意(濱野) 競技注意(橋爪) 県報告(濱野) 賞状(藤井)
 記録速報(濱野) 運営進行(顧問全員) 審判員(橋爪・顧問全員)
 ※2日間ともお弁当の準備は各自でお願いします。

6 練習場所・時間配当

1日目

2日目

	7:50~8:20	8:25~8:55		7:50~8:20	8:25~8:55
1	東海	浜島男子	1	文岡男子	浜島
2	文岡男子	鳥羽東男子	2	文岡女子	鳥羽東女子
3	文岡女子	鳥羽東女子	3	文岡女子	鳥羽東男子
4		志摩	4	東海	加茂
5			5		志摩

※参加ペアが9ペア以上の場合には練習コートに2面確保する
 ※使用していないコートは、後半練習チームのアップ会場とする。
 ただし、ボールを使つての練習は不可とする

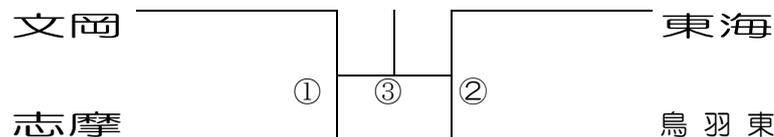
7 組み合わせ(団体戦) 開始時間 9:15~

<男子> クレーコート(1コート) ※1面展開

	鳥羽東	文岡	浜島
鳥羽東		①	③
文岡			②
浜島			

<女子>クレーコート(2・3コート) ※1面展開

すべて1面展開で行う。各校1試合目は必ず3試合行う。



※個人戦の組み合わせについては、
 鳥羽志摩中学生ソフトテニス選手権の結果を参考にして行い、大会当日発表する。

8 その他

①1日目の団体戦終了後、練習を希望する学校には、空いたコートを開放する。

2025年度鳥羽志摩中学生総合体育大会「女子卓球」の部

1 開催日時・会場

6月14日(土) 大王中学校体育館 団体戦・個人戦

開館 8:30 開会式 9:15 競技開始 9:30

*予備日 6月21日(土)、7月5日(土)、6日(日) (大王中学校体育館)

*濃霧等により定期船が欠航になった場合、大会を順延とする。また地震・台風・雷等に対する安全対策が必要な場合や公共交通機関の遅れ等が発生した場合は、延期や開始時刻を遅らせる等の判断を鳥羽志摩中体連本部と協議の上行う。その際6:30まで決定に時間がかかる場合がある。

*顧問会議(大会長・養護を含む)を9:00から行う。

*練習開始は、出場校がすべてそろってからとする。

2 使用球 Nittaku スリースター(ホワイト)40mm

3 責任者 大会長 千草 義輝(神島中) 審判長 塚原 寛子(志摩中)
競技責任者 野村 貴裕(鳥羽東中) 氷担当 西尾 聡子(大王中)
会場責任者 西尾 聡子(大王中) 養護 伊藤ゆかり(神島中)

4 ルール 日本卓球協会競技規則に準ずる。

5 申し合わせ事項

【団体戦】

- ・学校対抗(各校1チーム)とする。
- ・初戦のみ5番まで試合を行う。結果は3点先取で記録する。
- ・3校によるリーグ戦 ※リーグ戦の試合順は抽選によって決定する
- ・1チーム6名(登録8名)で構成し、1・2・4・5番がシングルス、3番がダブルスの3点先取法で行う。試合ごとにオーダーを作成し、本部に提出する。
- ・すべての試合を5ゲームマッチで行う。
- ・審判は原則対戦校から出す。

【個人戦】

- ・出場人数は、各学年制限を設けないものとする。
- ・すべての試合を5ゲームマッチで行う。
- ・シードは各校の1番手とし、シードの位置は抽選とする。個人トーナメントは試合当日に発表する。

6 個人戦選手申込

個人戦に出場する選手名を、6月6日(金) 18:00までに電子メールなどで連絡すること。

女子トーナメント作成 → 女子:池田先生(東海中) t-ikedaharuhito@edu.city.shima.mie.jp

↓学校名 ↓名前

	A	B
1	(神島)	吉村 和弘
2	(神島)	宇田 幸矢

※1から強者順で入力してください

※エクセルファイルを作成して送ること。ファイル名は「〇〇中・女子名簿」とすること。

※作成していただいたトーナメントは、6月11日(水)までに鳥羽東中・野村(jtobahigashi00@toba.ed.jp)まで送ること。

※鳥羽東中・野村が試合当日に「エントリー数+20部」印刷して会場へ持っていく。

7 服装

日本卓球協会検定ユニフォーム、または鳥羽志摩中体連卓球専門部が認めた服装で競技を行う。
また、背中にはゼッケン（25×18cm）を必ず付けること。

- 8 表彰 団体戦は優勝のみ表彰する。個人戦はベスト4まで表彰する。
優秀選手は9名（個人戦ベスト8＋団体優勝チームから1名）を選出する。

- 9 組合せ 【団体戦】3校（文岡、志摩、大王）によるリーグ戦
◇リーグ戦進行（3台並行で行う）

試合	
1	文岡 × 大王
2	志摩 × 大王
3	文岡 × 志摩

【個人戦】 ・トーナメント戦で行う。トーナメントは当日発表する。

10. 熱中症対策について

- ①活動場所のWBGTを定期的に（1時間に1回程度）測定する。
- ②場内アナウンス等により、参加者へ熱中症の注意喚起を行う。
- ③活動場所のWBGTが31℃以上の場合は一時的に中断し、中止、延期又は再開することを検討する。
- ④検討後再開と判断した場合は、競技開始時刻や実施方法の変更、クーリングタイム等の対応を柔軟に行う。その際、選手にとって不利益とならないように注意する。

11. その他

- ・促進ルール、タイムアウト制を実施する。
- ・外履き靴を入れるための袋を用意すること。
- ・弁当は個人管理とする。
- ・駐車場は各中学校体育館前の駐車場を使用すること。路上駐車は行わない。
- ・開会式での優勝旗返還を行う。（前年度優勝：女子は文岡中学校）

12 練習コート

1	2	3	4	5	6	7
文岡	文岡	志摩	志摩	大王	大王	浜島・神島

※会場校や会場準備の状況により、変更となる可能性があります。

2025年度鳥羽志摩中学生総合体育大会「男子卓球」の部

1 開催日時・会場

1日目：6月15日（日）団体戦 磯部ふれあい公園体育館

2日目：6月22日（日）個人戦 阿児アリーナ

*予備日 7月5日（土）、6日（月） 磯部ふれあい公園体育館

両日とも 開館 9:00 開会式 9:30 競技開始 1日目10:00、2日目9:45

*地震・台風・雷等に対する安全対策が必要な場合や公共交通機関の遅れ等が発生した場合は、延期や開始時刻を遅らせる等の判断を鳥羽志摩中体連本部と協議の上行う。
その際6:30まで決定に時間がかかる場合がある。

*顧問会議（大会長・養護を含む）を9:15から行う。

*原則として、全出場チームが揃ってから練習を開始する。

2 使用球 Nittaku スリースター（ホワイト）40mm

3 責任者 大会長 1日目：大木 信幸（志摩中） 2日目：谷口三津夫（加茂中）
競技責任者 野村 貴裕（鳥羽東中） 審判長 森本 裕士（志摩中）
会場責任者 内山 秀紀（文岡中） 氷担当 西井 智美（鳥羽東中）
養護 1日目：郷 さほ（志摩中） 2日目：大畑 美幸（浜島中）

4 ルール 日本卓球協会競技規則に準ずる。

5 申し合わせ事項

【団体戦】

- ・学校対抗（各校1チーム）とする。
- ・初戦は5番まで試合を行う。
- ・1チーム6名（登録8名）で構成し、1・2・4・5番がシングルス、3番がダブルスの3点先取法で行う。試合ごとにオーダーを作成し、本部に提出する。
- ・予選リーグ、決勝トーナメントともにすべての試合を5ゲームマッチで行う。
- ・審判は対戦校から出す。

【個人戦】

- ・出場人数は、全学年で制限を設けない。
- ・すべての試合を5ゲームマッチで行う。
- ・シードは令和6年度学年別大会等の結果から専門部で協議する。個人トーナメントは試合当日に発表する。
- ・1位～8位は順位決定戦を行う。

6 個人戦選手申込

個人戦に出場する選手名を、6月12日（木）18:00までに電子メールなどで連絡すること。

トーナメント作成 → 男子：西尾先生（大王中） t-nishio-satoko@edu.city.shima.mie.jp

↓学校名 ↓名前

	A	B
1	(神島)	吉村 和弘
2	(神島)	宇田 幸矢

※1から強者順で入力してください

※エクセルファイルを作成して送ること。ファイル名は「〇〇中・男子名簿」とする。

※作成したトーナメントは、6月18日（水）までに鳥羽東中・野村（jtobahigashi00@toba.ed.jp）まで送ること。

※鳥羽東中・野村が試合当日に「エントリー数+20部」印刷して会場へ持っていく。

7 服装

日本卓球協会検定ユニフォーム、または鳥羽志摩中体連卓球専門部が認めた服装で競技を行う。
また、背中にはゼッケン（25×18cm）を必ず付けること。

8 表彰

団体戦は2位まで表彰する。個人戦はベスト4まで表彰する。
優秀選手は10名（個人戦ベスト8＋団体優勝・準優勝チームから各1名）を選出する。

9 組合せ

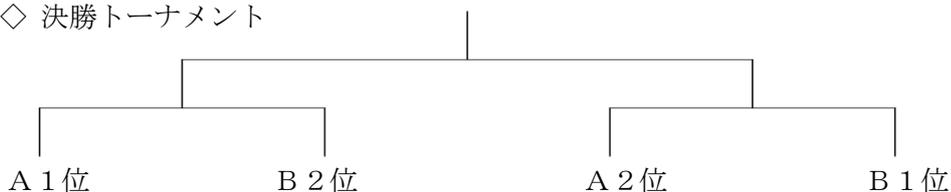
【団体戦】

①男子：6校（文岡、浜島、鳥羽東、東海、大王、志摩）による
予選リーグ戦（3校ずつ）と決勝トーナメント

◇予選リーグ

試合	Aリーグ	Bリーグ
1	文岡 × 鳥羽東	東海 × 志摩
2	浜島 × 鳥羽東	大王 × 志摩
3	文岡 × 浜島	東海 × 大王

◇決勝トーナメント



【個人戦】 ・トーナメント戦で行う。トーナメントは当日発表する。

10. 熱中症対策について

- ①活動場所のWBGTを定期的に（1時間に1回程度）測定する。
- ②場内アナウンス等により、参加者へ熱中症の注意喚起を行う。
- ③活動場所のWBGTが31℃以上の場合は一時中断し、中止、延期又は再開することを検討する。
- ④検討後再開と判断した場合は、競技開始時刻や実施方法の変更、クーリングタイム等の対応を柔軟に行う。その際、選手にとって不利益とならないように注意する。

11. その他

- ・促進ルール、タイムアウト制を実施する。
- ・外履き靴を入れるための袋を用意すること。
- ・駐車場は各会場の駐車場とする。路上駐車はしないこと。
- ・開会式での優勝旗返還を行う。（前年度優勝：男子は東海中学校）
- ・弁当は個人管理とする。

12. コート番号と練習コートの割り振り

<6月15日(日)団体の部>6台

<本部席>

1	文岡	4	東海
2	浜島	5	大王
3	鳥羽東	6	志摩

<スタンド・入口>

<6月22日(日)個人の部>14台

本部

1	文岡	8	鳥羽東
2	文岡	9	志摩
3	(フリー)	10	大王
4	(フリー)	11	(フリー)
5	(フリー)	12	(フリー)
6	浜島	13	東海
7	加茂	14	東海

※フリー台で練習する際は譲り合って使うこと。

13 観客席割りあて

<6月15日(日)団体の部>

鳥羽東	浜島	文岡		階段		東海	大王	志摩
1	2	3	4	5	6	7	8	

※フロアから見た配置。

※保護者や学校関係者は、両サイドの通路にある座席を使用。

2025年度鳥羽志摩中学生夏季総合体育大会 バドミントンの部

1. 日時 2025年6月7日(土) 会場：鳥羽市立鳥羽東中学校体育館
予備日：8日(日) 会場：鳥羽市立鳥羽東中学校体育館
- 公式練習 8:20 ~ 8:35 (鳥羽東・答志)
8:35 ~ 8:50 (磯部・文岡)
開会式 9:00 ~ 試合開始 9:15 ~

※8:40より全員で打ち合わせを行うので、本部前に集合をお願いします。(大会長・養護も含む)

2. 会場 鳥羽市立鳥羽東中学校体育館 ※濃霧等により開会式の時間に変更になる場合がある。

3. 担当 大会長 : 山下 幸也 (鳥羽東 中学校長)
競技責任者 : 堤 大亮 (鳥羽東 中学校)
審判長 : 藤原 喜一郎 (鳥羽JBC)
会場責任者 : 堤 大亮 (鳥羽東 中学校)
進行・記録 : 各チーム顧問
救護 : 福本 晶 (鳥羽東 中学校)

4. 競技方法

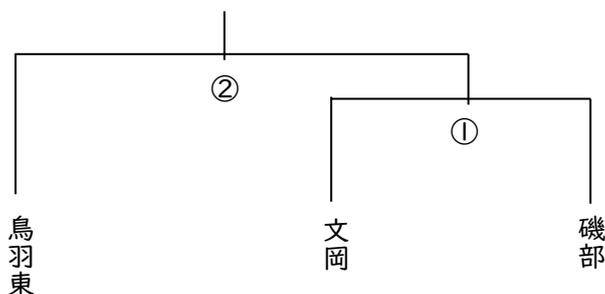
(1) 団体戦

シングルス・ダブルスともに21ポイント3ゲームマッチ2ゲーム先取

※各試合は、2ダブルス・1シングルスで行い、2試合先勝をもって以後の試合を打ち切る。

ただし、初回戦は3試合目の1ゲームまで行う。

〈女子〉



(2) 個人戦

・トーナメント方式で行う。(4人・4ペア未満の場合は総当たりで行う。)

・試合は15ポイント3ゲームマッチ(MAX20点、3ゲーム目は8点でチェンジエンド)

・準決勝より正規ルールで行う。

※エントリーはシングルス、ダブルスのどちらかにしかできない。

(3) 進行

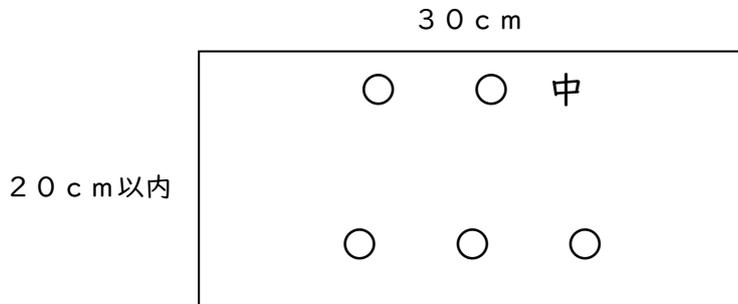
団体戦、個人戦の順で行う。

5. 使用シャトル ヨネックス AEROSENSA700 3番

※エントリー数による 1人～12人→1本 12人～24人→2本 25人～36人→3本

6. 服装 ユニフォームまたは体操服（ユニフォームが間に合わない場合は各学校の体操服）

※背中にゼッケンをつける



※同一校で同じ名字の選手がいる場合、
名前の頭文字を明記する。

7. 表彰

団体 女子 優勝のみ（大1枚）

個人 男子 シングルス・ダブルスともに優勝のみ（小3枚）

女子 シングルス・ダブルスともに3位まで（小12枚）

優秀選手 ※個人戦終了後本部席にて優秀選手を確認する。

8. 開閉会式について

(1) 開会式

司会	:	西井 佳子	(文岡 中学校)
大会長あいさつ	:	山下 幸也	(鳥羽東 中学校長)
競技について	:	堤 大亮	(鳥羽東 中学校)
審判について	:	藤原 喜一郎	(鳥羽 J B C)
会場使用上注意	:	堤 大亮	(鳥羽東 中学校)
選手宣誓	:	鳥羽東中学校主将	

(2) 閉会式

司会	:	西井 佳子	(文岡 中学校)
成績発表	:	大屋 真一	(磯部 中学校)
表彰・講評	:	山下 幸也	(鳥羽東 中学校長)

9. 選手申し込みについて

メンバー表締切 5月30日（金） 堤（鳥羽東 中）までメールで提出

10. その他

(1) 濃霧等により開会式の時間に変更になる場合がある。

・6:00頃実施・中止・延期の判断を行う。濃霧等の発生で鳥羽市定期船が運航できない場合は、最大8:00まで待つこととする。

(2) 運営上の確認事項

- ・コール待ちの選手の待機場所は指示する。
- ・インターバル中のコートサイドでの給水を認める。トレイを利用する。
- ・試合中、声を出して指導できるのは監督とコーチのみとする。
- ・1年生の出場は各校判断とする。(ただし、出場させる場合は審判ができること)
- ・停電等により試合続行が不可能になった場合は、再試合とする。
- ・治療について5分間試合を中断し、治療しても回復しなければ棄権とする。

(3) 熱中症対策について

- ①活動場所のWBGTを定期的に(1時間に1回程度)測定する。
- ②場内アナウンス等により、参加者へ熱中症の注意喚起を行う。
- ③活動場所のWBGTが31℃以上の場合是一時中断し、中止、延期又は再開することを検討する。
- ④検討後再開と判断した場合は、競技開始時刻や実施方法の変更、クーリングタイム等の対応を柔軟に行う。その際、選手にとって不利益とならないように注意する。
- ⑤熱中症特別警戒アラート等が発表された場合は、延期とする。

(4) 落雷事故防止について

- ・大会期間中(試合及び練習やその他に関わる活動を含む)に落雷の予兆があった場合は、速やかに活動を中断し、危険性が無くなると判断されるまで、安全な場所に選手またはその関係者を避難させる等、安全確保を最優先事項として常に留意する。

(5) 県大会出場について

男子 団体：1チーム

個人：シングルス・ダブルスともに地区予選の結果から決定する。

女子 団体：優勝(ただし2位のチームはプレーオフに参加できる)

個人：シングルス・ダブルスともに地区予選の結果から決定する。

(6) 県大会およびプレーオフ日程

団体プレーオフ：7月 19日(土) 紀北町立紀北中学校

県大会 団体：7月 26日(土) サンアリーナ

個人：7月 27日(日) サンアリーナ

※県大会申し込み締め切り：7月 22日(火) 15:00 南郊中 中井先生まで

※三重県中体連HPから申し込みエクセルファイルをダウンロードし、必要事項を記入の上、メールに添付し送信する。

令和7年度 鳥羽志摩中学生総合体育大会 剣道の部

1. 日 時 令和7年5月10日（土） 予備日11日（日）

開 場 8：00

集 合 8：30

開会式 9：15

2. 会場及び責任者 鳥羽市武道館

大会長 山下 幸也 （鳥羽東中）

競技責任者・会場責任者 大矢 悠 （鳥羽東中）

救 護 廣川 遥 （答志中）

3. 試合方法

- ・ 個人戦の総当たり戦を行う。3分3本勝負。3分で勝負が決しない場合は、2分間の延長戦を行う。それでも勝負が決しない場合は引き分けとする。
- ・ 順位の決定は、勝ち数、本数の順で決める。勝ち数、本数が同じ場合は、直接対決の勝者を上位とする。直接対決が引き分けの場合は、1本勝負の試合を行い、勝った方を上位とする。

※ 参加人数によって対戦方法を変更する場合がある（当日発表）。

4. 試合規定

- ・ 全日本剣道連盟試合、審判規則ならびに細則に順じ、三重県中体連剣道専門委員会申し合わせ事項に従って行う。

※ 面の乳皮（黒か紺）、つばの色（茶か白）等に気をつけること。

5. 表 彰

- ・ 出場者が8人以上は3位まで、7～4人は2位まで、3人以下は1名を表彰する。
- ・ 男子は優勝、女子は優勝者、準優勝者を優秀選手とする。

6. 申し込み

- ・ 出場者の名前、学年、所属を5月7日（水）までに鳥羽東中学校 大矢まで報告する。

メール jtobahigashi00@toba.ed.jp

電話 0599-26-5001, 5002

FAX 0599-26-5012

7. 県大会への出場について

- ・ 男女各8位までの選手が県大会の出場権を得る。

8. 熱中症、災害対策等について

- ・ 鳥羽市営定期船が濃霧や荒天等で運行できない場合は延期（6：30頃に決定）とし、11日（日）に実施する。

- ・ 熱中症対策について

① 活動場所のWGBTを定期的に（1時間に1回程度）測定する。

- ② 場内アナウンス等により，参加者へ熱中症の注意喚起を行う。
- ③ 活動場所の WGBT が 31℃ 以上の場合は，一時中断し，中止，延期又は再開することを検討する。
⇒熱中症特別警戒アラートが発動された場合は延期とする。
- ④ 検討後，再開と判断した場合，競技開始時間や実施方法の変更，クーリングタイム等の対応を柔軟に行う。その際，選手にとって不利益とならないように注意する。
- ・ 落雷事故防止について
 - ① 大会期間中（試合及び練習やその他に関わる活動を含む）に落雷の予兆があった場合は，速やかに活動を中断し，危険性が無くなると判断されるまで，安全な場所に選手またはその関係者を避難させる等，安全確保を最優先事項として常に留意する。
⇒会場までの道中に気をつける。
※ 落雷の予兆
雷鳴が聞こえる，稲光が見える，急に真っ黒な雲が近づいてくる，急な雨やあられが降ったりする 等
 - ② 大会当日に雷注意報が発表されている場合は，気象庁の「雷ナウキャスト」等で天候情報を確認し，大会を中止するかどうかを判断する。
⇒各自でも，家を出る際に注意する。危険であると判断した場合は，顧問や指導者等に連絡を入れること。
 - ③ 落雷による事故を未然に防ぐために，事前に情報収集しておく。
 - ・ 前日及び当日の天気予報（特に突発的な豪雨や雷雲等）
 - ・ 活動場所と避難場所の位置確認
 - ④ 検討後，再開と判断した場合，競技開始時間や実施方法の変更，クーリングタイム等の対応を柔軟に行う。その際，選手にとって不利益とならないように注意する。
- ・ 津波が心配される場合は，大会長の指示のもと，鳥羽東中学校へ避難する。

9. その他

- ・ 開会式後，1階試合場には関係者以外は入らない。応援はギャラリーで行う。
- ・ ゴミは持ち帰る。
- ・ 竹刀の割れやささくれ，中結や弦の緩みなどないよう各自で整備しておく。
※ 竹刀の重さは，男子440g，女子400g，長さは37の竹刀とする。

鳥羽志摩中学生夏季総合体育大会 柔道の部

1 期 日 令和7年6月7日(土)
集 合 8:30
計 量 9:00 ※体重が適合しない場合は失格とする。
開会式 9:20

2 会 場 鳥羽市武道館

3 責任者 大会長 谷口三津夫(加茂中)
会場・競技責任者 吉岡 孝明(鳥羽東中)
救 護 堤 香織(加茂中)

4 競技規則

- (1) 国際柔道連盟試合審判規定・国内における「少年大会特別規定」による。
- (2) 優勢勝ちの判定基準は次の通りとする。
 - ・技の評価は「有効」以上とするが、技の評価が同等の場合で「指導」差が2以上開いたときは、少ない選手を「僅差」の優勢勝ちとする。「指導」差が1以下のときは団体戦の個々の試合は「引き分け」とし、個人戦は時間無制限のゴールデンスコア(GS方式)によって勝敗を決する。
※GS方式とは、先に「有効」以上の技による評価を得た試合者が勝ちとなり、「指導」をとられ、相手より指導の数が多くなった試合者が負けとなる。
- (3) 試合時間は、団体戦・個人戦とも3分間とする。

5 競技方法

- (1) 団体戦
 - ・団体戦は選手(男子5名・女子3名)による点取り試合とする。編成は体重の重い者を大将とし、以下体重順に編成すること。また補欠選手のみ、選手と交代できる。ただし、体重順に編成し直すこと。
- (2) 個人戦
 - ・男女とも体重無差別の総当たり戦を行う。
 - ・本戦で勝敗が決しない場合はGS方式により勝敗を決する。
- (3) 県大会出場枠について
 - ・団体…1所属1チームの参加とする。
 - ・個人…各階級の優勝者は県大会(7月27日 亀山西野公園)の出場権を得る。

男子	8階級	各1名	(50kg 55kg 60kg 66kg 73kg 81kg 90kg +90kg)
女子	8階級	各1名	(40kg 44kg 48kg 52kg 57kg 63kg 70kg +70kg)

※出場枠については、現在検討中のため、変更される可能性がある。

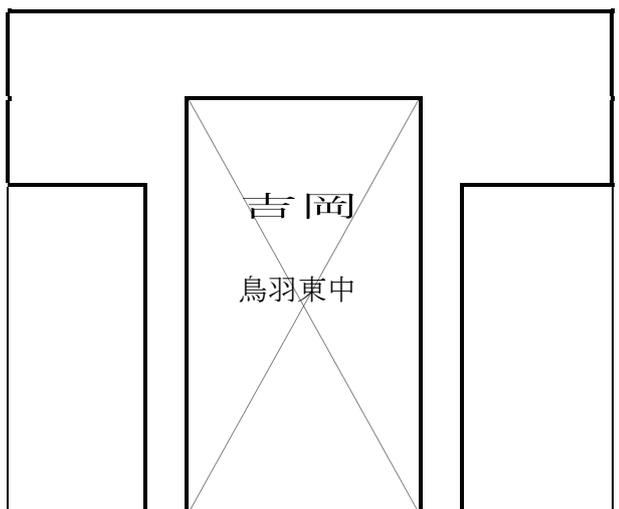
6 表彰

- (1) 出場者が8人以上の場合は3位まで、7～4人は準優勝者まで、4人未満は優勝者の表彰を行う。
- (2) 男子は優勝、準優勝者、女子は優勝者を優秀選手とする。

7 柔道着について

- (1) 規定にあった柔道衣を着用すること。
- (2) ゼッケン
道衣にゼッケン（学校名・名前入り）を縫いつけて出場すること（例を参照）

- ①サイズは、横30～35cm
縦25～30cm
- ②名前（姓）は、上側2／3
- ③学校名は、下側1／3
- ④書体は太字ゴシック体（明朝体も可）
男子は黒色、女子は赤色
- ⑤縫いつけ場所は後襟から5～10cm
下部の所で対角線にも糸で縫いつける
- ⑥女子の下着は白の無地丸首Tシャツとする（ワンポイント可）



8 申し込み

- ・ 出場者の名前・学年・階級を5月30日（金）までに鳥羽東中学校 吉岡に報告する。

メール jtobahigashi00@toba.ed.jp

電話 0599-26-5001, 5002

FAX 0599-26-5012

9 熱中症・災害対策について

- (1) 熱中症対策について
 - ① 選手の状況に応じ、延長戦前や試合途中に水分補給の時間を確保する。
 - ② 活動場所のWBGTを定期的に（30分に1回程度）測定する。
 - ③ 場内アナウンス等により、参加者への熱中症の注意喚起を行う。
 - ④ 活動場所のWBGTが31℃以上の場合は一時中断し、中止、延期又は再開することを検討する。（熱中症特別警戒アラートの場合は延期とする）。
 - ⑤ 検討後、再開と判断した場合は、競技開始時間や実施方法の変更、クーリングタイム等の対応を柔軟に行う。その際、選手にとって不利益とならないように注意する。
- (2) 大会中津波が心配される場合は、大会長の指示のもと鳥羽東中学校へ避難する。

(3) 落雷事故防止について

- ① 大会期間中（試合及び練習やその他に関わる活動を含む）に落雷の予兆があった場合は、速やかに活動を中止し、危険性がなくなると判断されるまで、安全な場所に選手またはその関係者を避難させる等、安全確保を最優先事項として常に留意する。

→ 会場までの道中に気をつける。

※落雷の予兆

雷鳴が聞こえる・稲妻が見える・急に真っ暗な雲が近づいてくる、急に雨やあられが降る等

- ② 大会当日に雷注意報が発表されている場合は、気象庁の「雷ナウキャスト」等で天候情報を確認し、大会を中断するかどうかを判断すること。

→ 各自でも、家を出る際に注意する。危険であると判断した場合は、顧問や指導者等に連絡を入れること。

- ③ 落雷による事故を未然に防ぐために、事前に情報収集しておくこと。

・前日及び当日の天気予報（特に突発的な豪雨や雷雲等）。